

地域づくりに向けた話し合を目的とした

はじめてのワークショップの準備と当日の進行(例)

次の背景と目的で、はじめてのワークショップを開催する場合について、『**当日までに必要な準備**』と『**当日の進め方**』の例をお示しします！

★背景

公民館区程度のエリアで地域づくり(地域運営の仕組みづくり)を開始。

★今後の展開方針

今回のワークショップを皮切りに、複数回ワークショップを実施した後で、分野別の検討や活動のグループをつくることを想定。

★今回のワークショップの目的

今回を皮切りに、地域の課題や地域での対策についての話し合いを開始！

★今回のテーマ設定

今後の地域づくりの方針や中心的課題、対策の検討の際の材料を幅広く引き出すため、次のように幅広く3つの話し合いテーマを設定。

→ ①「地域のいいところは？」、②「日頃の暮らしで困っていることは？」、③「将来の夢は？」

<はじめてのワークショップ（以下、WS）準備編>

①WS実施検討チームをつくり、打合せ（必要に応じ数回）

1. チーム構成員（イメージ）

<地域>

地域づくり組織のリーダー、組織のWS担当、集落支援員、地域おこし協力隊等

<支援機関>

市町村役場担当者、県関係機関、専門分野支援人材

2. 打合せ内容

○WSの目的、1回目のWS実施後の展開方向についての目線合わせ

○流れについての確認・・・<当日運営編を参照のこと>

○当日のおおよその役割分担の決定

例：全体司会(地域)、WS進行(支援機関)、サポート役(支援機関)、まとめ役(地域)

※留意点

はじめてのワークショップ後の展開を、少なくとも2年以上サポートできる体制をつくることが望ましいです。

（例：市町村役場担当職員や集落支援員の立ち位置で同一人材であることが望ましい。）



②自治会（集落）、各種グループとの協働体制づくり

○各自治会（役員等）、地域内の各種活動グループへの説明機会、協力要請機会をつくる



③参加者募集の方法を決める

- 最初は、自治会との協働体制をつくる意味合いからも、各自治会から参加者を推挙してもらう方式も有効。
- できるだけ今後の話し合いでキーパーソンになりそうな方に声をかけ、参加してもらう。
- 広報誌や有線方法なども積極的に使って参加を呼びかける。あまり参加者が得られなくても、地域住民の方にワークショップの開催をしてもらいいい機会になる。
- 最終的に、参加者構成が、性別、年齢別で分散するように心掛ける。



④おおよそのワークショップ参加者構成を把握する

- 年齢、性別、自治会での役職等、地域での活動内容、職業属性等（可能ならば）



⑤ワークショップでの参加者のグルーピングをする

- 参加者を6人前後のグループに分ける。
- グルーピングに当たっては、④も参考にしながら、話がしやすくなるよう配慮する。
- ※同じ自治会の住民が複数人固まらないようにする
- ※若い人や女性が少ない場合は、1つのグループにした方が、意見が出やすくなる。
- 可能なら、グループごとのリーダーを決めておく（グループの司会役）。
この場合は、事前に相談しておいた方がよい。

<ワークショップ (WS) 当日運営編>

用意するもの

模造紙(A0版)、大きめの付箋(各色)、フェルトペン、マジック(各色、太字) ※グループ数分用意

当日の流れ

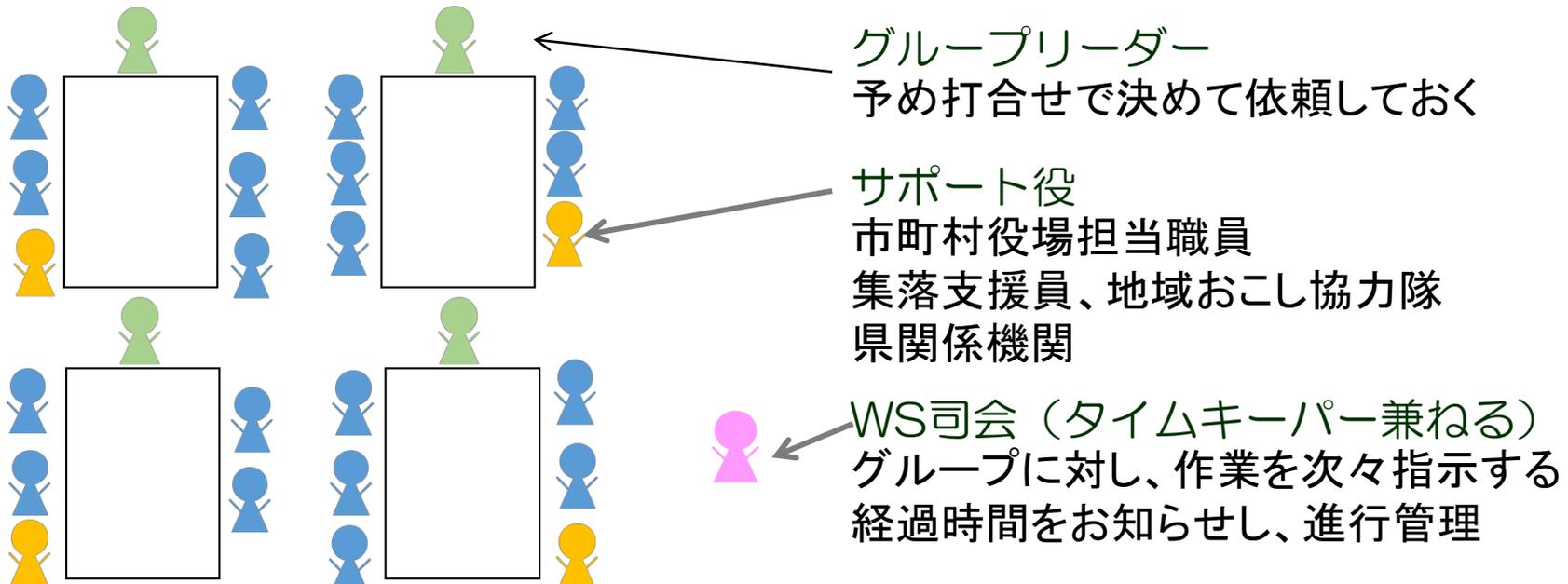
※当日、午後14:00～16:00(2時間)で開催とすると

13:00～13:30

①グループのリーダー役、サポート役、司会等で事前目線合わせ

○当日の進め方、役割分担再確認、変更点確認(参加者の出欠など)

②ワークショップ用に机を配置(次頁)、参加者受付しグループ割振



①開催目的の説明

○地区の地域づくりの状況、WSの目的、今後のWSの成果をどう使うか



②ワークショップの進め方説明(ワークショップ司会進行役)

○当日の流れ、ワークショップの仕方(次ページ)、終わりの時間



③グループにわかれて話し合い開始 90分程度

○話し合いの進め方については資料1 ワークショップの実施例を参照



④ワークショップ終了

- 今回の話し合い内容のまとめ(全体司会から)
- 話し合いの結果のまとめ方と利用の仕方報告
- 次回のワークショップの方向性
- 次回開催日提示
- 終了

<ワークショップの実施例>

話し合い(グループワーク) 計60分

1. 自己紹介 5分 ※お互い知らない方がいる場合

2. 第1テーマで話し合い 15分

『地域のいいところ』

(1) 1つの付箋に1つの事項を書く 5分

(2) 各自順番に記入事項を説明する。

説明したものは模造紙に貼る 10分

※サポート役はグループの皆さんが書くのが滞ったときヒントを出したり、模造紙に貼られた付箋を分類したりするのを手伝う。

※できた模造紙は皆が見える壁に貼る。

3. 第2テーマで話し合い 15分

『日頃の暮らしで困っていること』 流れは同上

4. 第3テーマで話し合い 15分

『将来の夢(地域について)』 流れは同上

5. 発表に向けて2. ~4. を再整理 10分

※サポート役は分類した事項の関係などを、マジックを使ってより分かりやすいものに整理することをサポート



発表 計30分

各グループが話し合い内容を発表(各3分程度)